安全作業手順書【休憩施設清掃】

作成日・改正日	2025/4/1 （前回改正：2024/4/1）	現場名	東名高速道路　東郷ＰＡ、守山ＰＡ
機器工具	床面洗浄機、ゴミ運搬台車、清掃用具運搬カート	保護具	帽子、ヘルメット、手袋、マスク

見積もり基準をした危険性の評価

発生頻度 ＼ 重大性	○ 軽微（不休と休業３日以内）	△ 重大（休業４日以上）	× 極めて重大（死亡・障害が残る）
○ ほとんど起こらない（５年に１回程度）	○○（極めて小さい）	○△（かなり小さい）	○×（中程度）
△ たまに起こる（１年に１回程度）	△○（かなり小さい）	△△（中程度）	△×（かなり大きい）
× かなり起こる（６ヶ月に１回程度）	×○（中程度）	×△（かなり大きい）	××（極めて重大）

危険性又は、有害性の評価と危険度の判定基準例

危険性の見積もり	危険性の評価	危険度	判定
××	極めて重大	5	即座に対策が必要
×△、△×	かなりえまい	4	根本的対策が必要
×○、△△、○×	中程度	3	何らかの対策が必要
△○、○△	かなりりさい	2	現時点では改善を検討する
○○	極めて小さい	1	対策の必要なし

作業区分		作業手順・作業内容	急所	危険ポイント（～なので～になる）	リスクの見積り (A)	(B)	リスク	安全対策（危険度２以下へ）（私達はどうする）	リスクの再見積り (A)	(B)	リスク
準備工	ミーティング	当日の作業内容の確認	当日勤務者全員で確認	手順を誤りケガをする	○	△	2	２人でマニュアル、気をつける事を確認しあう	○	○	1
		服装の確認	当日勤務者全員で確認	帽子、手袋、マスク等の着用忘れによるケガ	○	○	1	２人お互いの服装を確認し、乱れがあれば指摘し直す	○	○	1
本作業	ごみ回収	トイレ前のゴミ箱より可燃、ペットボトル、缶のゴミを回収し分別場に運搬	ゴミ袋引き上げ及び交換	ゴミが散乱し回収する際に周囲確認不足によりお客様と接触する	○	○	1	２人でゴミ袋の口のしばりを確認する	○	○	1
			ゴミ箱周辺の清掃	ブレーキ不良により勝手に台車が動きお客様及び駐車場の車に接触する	○	○	1	ブレーキレバーを握らない状態でブレーキが利くか確認する	○	○	1
			ゴミ袋を運搬台車に乗せ分別所まで運搬	ゴミを積みすぎ前方確認できずお客様と接触する	○	○	1	自分の胸の高さ以上にゴミを積まない	○	○	1
	喫煙所清掃	喫煙所内の清掃 灰皿の清掃	水を入れたバケツ、吸殻を回収するザル、バケツを準備し清掃する	歩道部のタイル等の段差につまづいて転び骨折する	△	△	3	足元に気を配りながら歩く	○	○	1
				２人で話ながらよそ見しながら歩行し転ぶ	△	△	3	話しながら歩行しない	○	○	1
				お客様に水や灰がかかる	○	○	1	お客様がいない状態で作業する	○	○	1
本作業	トイレ内巡回清掃	トイレットペーパーの補充 便器清掃	清掃カートにて用具を運び清掃する	専用キットを使用せず清掃をして感染症にかかる	○	△	2	嘔吐物を片付ける際は専用キット使用する	○	○	1
				清掃カートから用具が落下しお客様にあたる	○	○	1	小物は落ちないようにバケツ等にいれカートに積む	○	○	1
				清掃カートのブレーキ掛け忘れにより勝手に動きお客様にあたる	○	○	1	清掃カートを停止させる場合は確実にブレーキを掛ける	○	○	1
	ごみ分別	可燃ごみ、缶、ペットボトル、不燃物等に分別する	中身の見えない袋は気をつけて作業する	袋の中に入っている爪楊枝等の先のとがった物を握って手	○	○	1	袋を逆にして、分別台にゴミを出し分別する	○	○	1
			ビン、缶等に入った不審物に注意する	有害な液体が体にかかりケガ及び体調不良になる	○	△	2	容器の表示と異なるものが中身にあると感じたら中身を開けずに廃棄する	○	○	1
			スプレー缶は不燃物としてまとめる	スプレー缶のガス抜き中に爆発し破片でケガをする	○	×	3	ガス抜き作業はせずそのまま処理する	○	○	1
			バック等、不審物に注意	不審物の中身を開け爆発しケガをする	○	×	3	不審物を発見したら触れずにマニュアルに沿って担当部署へ連絡する	○	○	1
本作業	駐車場清掃	駐車場内のゴミ拾い	清掃道具を準備して駐車場移動し、作業を行う	駐車している車が急発進し接触してケガをする	○	×	3	エンジンの動作にかかわらず、停車中の車両の合間に入らない。車両付近は清掃しない。	○	○	1
			ヘルメット安全チョッキを着用する	ガードレール上部より体を乗り出して清掃する際に転倒してケガをする	○	△	2	ガードレール外側（本線側）のゴミは拾わない	○	○	1
			２人一緒に移動しながら清掃	一般車に接触してケガをする	○	×	3	監視役と作業役で役割を決めて2人以上で作業をする。監視役は黄旗を用いてお客様に注意喚起を行う。	○	○	1
	トイレ内清掃	男子・女子・多目的トイレの水洗い清掃を行う	床面洗浄機、電解水、ブラシ等を使用し清掃する	床面洗浄機使用時トイレ出入口付近でお客様と接触する	○	○	1	出入口付近では一旦停止し周囲を確認する	○	○	1
				お客様に水がかかる	○	○	1	清掃エリアをロープで仕切り清掃する	○	○	1
				しゃがんで作業した後、立ち上がる際に洗面台で頭をぶつけて怪我をする	○	○	1	狭い箇所の清掃は常に周囲を確認する	○	○	1
本作業	巡回清掃	【適宜】 トイレットペーパーの補充 トイレ内の簡易清掃 草花の手入れ 歩道部の清掃	清掃カートにて用具を運び清掃する	清掃カートから用具が落下しお客様にあたる	○	○	1	小物は落ちないようにバケツ等にいれカートに積む	○	○	1
				清掃カートのブレーキ掛け忘れにより勝手に動きお客様にあたる	○	○	1	清掃カートを停止させる場合は確実にブレーキを掛ける	○	○	1
				花瓶を割ってケガをする	○	○	1	すべり止め手袋・分厚い手袋を着用し作業する	○	○	1
				花を手入れする際、ハサミで手を切る	○	○	1				
	園地清掃	植栽園地の清掃を行う（基本　３週間に１回） ※汚れが過度な場合は適宜	箒、ちりとりを用いて清掃	樹木の根っこ等段差につまづき転んでケガをする	△	×	4	足元確認及び清掃員同士しゃべりながら作業しない	○	○	1
			手袋着用	植物、虫等に接触しケガをする	○	△	2	肌を露出させない服装で作業する	○	○	1